

ほんとうの空は... [編集する](#)

2014年02月28日 01:28 [友人の友人まで公開](#)

13 view



《写真》 ほんとうの...

そうです、いつかは見てみたかった、智恵子さんのいうほんとうの空。

旅のお供は、きよぼん!!

24:20 新宿 (→夜行バス 🚌)

4:50 - 5:05 郡山 (→きよぼんカー 🚗)

6:00 あだたら高原スキー場 🎿

【2月22日(土)】

駐車場、身支度中に陽が昇る ☀️



わくわくする登山口 🤖

出発直前、なぜかストックが1本ないっ、と慌てふためくが、ないものはないんだから仕方ない 📉。幸先悪いスタートだ... 📉📉📉 (どこで落としたのかも見当がつかず、下山後、バス会社に問い合わせても見つからず。無念 😞)

さて、リフトがあるゲレンデを登り始めると、右側はかなり踏み固められたトレースがついていた。(=トレース以外の場所は踏み抜きやすい)



歩き始めはいい汗をかきながら登っていたが、登るにつれて視界が悪くなり、



トレースも完全に付いているわけでもなく、赤テープを頼りにする。

途中の籠山方面への分岐もわからず、時折吹く風に鼻水が凍っていったが...😓、ようやく見えたのがここ。



くろがね小屋。

ここはかなり早いうちから満室になる、大人気の山小屋。もともとはここに宿泊予定だったが、今回は予約が取れずで残念。

中に入ってみると、まず「日帰り入浴」という言葉にもとてもそそられたが、ここはトイレ休憩のみとする。ちなみに小屋の外にある温度計はマイナス4℃。わお🥶

さて、山小屋から山頂方面を見上げれば、



ほんの一瞬だけ、晴れ間が!!🌟🌟 (でも、ほんとにほんの一瞬...。)

あとはずっと真っ白。宿泊客によっては、山頂をあきらめて下山する人もいたが、おれらは意を決して出発



登り始めは急登だが、この急登を登り終える頃には、



視界に飛び込んでくるものが、これくらい。

ガレ場らしい場所では、

強風 🌪️

きたあ～、WILDWIND～ 🏹🏹🏹

安達太良は、強風で有名らしい。(=那須並み。)





峰の辻。

ここから、一度道はずしてしまうが...🤔、他のパーティーが歩いていく方向に軌道修正。時折強風が襲来し、ただただ顔が痛い...😓

次の分岐点がくる。



とにかく視界が悪く、風が強いが、先行パーティーは進んでいく。おれらもここまできたら山頂を目指そうと登り始めるのだが、

山頂が見あたらない。。。!?

(地図上では、分岐からちょっと折れたら山頂があるはず。)

その後、山頂のような、それなりに広い場所に出た。標識はあるが、



読めん。

少し離れた場所に、別の標識もあるが、



何と書いてあるのかわからない。あの、智恵子抄のあの台詞がかかっているのではないのか—❗❓

そして気がつけば、先行パーティーはここで引き返したようで、すでに姿は見えなくなっていた。おれらは、もう少し登れるところまで行ってみたが、何もない。

もういいよ、ここがおれらにとっての山頂だよ。



最高点にて、きよぼん。

というわけで、登ってきた道を見失わないうちに下山し、

再び分岐点。

こできよぼんが「安達太良山」方面を指す標識を見つける。風は強いし、視界は悪い。でも地図を広げれば、山頂まではほんの少し折れるだけなのだ。よし、ここまできたら行くしかない🍷

なのに、

行けども行けども何もない🍷

こんなときこそ、山と高原地図のアプリをダウンロードしてくればよかった(=GPSで現在位置が確認可能!)、と後悔しつつ、あまりの強風と視界の悪さに圧倒され、遭難だけは避けなければという思いもあり、涙をのんで引き返す😭

再び分岐に戻ると、すでにトレースが消えかかっていた。さらに一時はホワイトアウトするんじゃないかと思うくらい真っ白。耐風姿勢も何度とったことか。。。しかし自分が歩いてきたルートだけは確信しながら下山し、なんとか峰の辻まで戻る。

峰の辻では、くろがね小屋方面のトレースが完全に消滅していた。籠山方面のトレースと赤テープははっきりしていたが、その先が見えない。それならもときたくろがね小屋に戻ろうと、方角だけを頼りに下山し始める。

不安はつきまどっていたが、うっすらとトレースが見える気がする!? それを信じて突き進むと、これから登ってくるパーティーがいた。よかった。これなら間違いない!! 😊

急斜面に入ると、ふたたびトレースがくっきりとし、風も弱まり、ザクザク下りながら、



無事にくろがね小屋に到着。

ああ、よかった。というわけで、



コーヒープレイク&昼食。



小屋の中は、まだ 11 時前だというのに、登山客(おそらく宿泊客)はどんどん増え、あちこちで酒盛りが始まっていた。おそらくこれがくろがね小屋の魅力なのであろう。おれらもまったりモードとなり、1 時間弱は滞在してしまった 🍷

さて再び、もと来た道を下山すると、視界もよくなり、天気もよくなり、籠山方面への分岐点もわかった。



実際、籠山方面への分岐を示す看板は何もなかったが、多くの登山客が籠山方面から下山してきていたのだ。



こちらは下山方面。

ここからはきよぼんとしゃべりながら、ハイキング気分で下山。そういえば、今回は全然しゃべっている余裕がなかったことにも気づかされる👉

そして、何かが突然目の前を横切った!!

と思ったら、それはスノーボーダー。ゲレンデに到着したところで、おしまいっ👌

6:30 スキー場登山口

8:15 - 8:40 くろがね小屋

9:10 峰の辻

9:30 分岐

9:45 最高点

9:55 分岐

10:05 引き返しポイント

10:10 - 10:15 分岐(=ウロウロする)

10:25 峰の辻

10:45 - 11:40 くろがね小屋


12:35 スキー場登山口

というわけで、今回は山頂を発見できなかったが、帰宅後、あらためて地図を見ると、どう考えても峰の辻から南へ行くべき所を、西に向かってしまったのだとわかる💧

答えがわかってしまうと、とても簡単で、次回は難なく山頂に立ててしまえるような気がする。こりゃ絶対にリベンジだ🔥

帰りは、風情のある温泉街「岳温泉」へ。

しかし意外にも日帰り入浴できる施設が少なく、立ち寄ったのはここ。

 樺平ホテル (¥1,000)

特筆すべきは、露天に置いてあった水。

そう、水だと思って注いだら、

なんと、日本酒「笹の川」だった(飲み放題)🍶

というわけで、まさかの雪見酒。

酒に弱いww は、すぐにほろ酔い。

(きよぼんは車の運転があったから、残念!)

帰りは車で新栃木駅まで送ってもらい🚗、解散。

おつかれでした!!😁

それにしても、ほんとの空は、ひどく真っ白だったけど...

でも、おれらはまだ山頂に立てていないわけだから、まだほんとの空を見たとは言えないのかもしれない。
きよぼん、また行くぜ、冬の安達太良!!

